防災・まちづくりの拠点施設として

北部地域振興センター 供用開始

旧町合併時に主要プロジェクトの一つとして掲げられていた「北部地域の拠点施設整備」。防災の要として、地域づくりの要として、皆さんに親しまれる施設となるよう計画は進められてきました。３月24日に竣工式を挙行。４月１日には開所式を挙行し、総合支所としての業務を開始しています。地元木材をふんだんに使った安らぎの空間、相談室や会議室を備えたコミュニティスペース。ユニバーサルデザインを導入した来庁者に優しい施設など、地域に愛されるセンターとして今後皆さんに供されます。

施設の見学会を実施　３月24日

竣工を祝いテープカット　３月24日

◇建設の経緯―

旧本川根町庁舎本館は、昭和32年に建設されました。昭和35年に用務員室などが、40年にミーティングルーム（2階書庫）、57年には東館と倉庫が増築されました。本館については、58年に耐震補強工事が施されました。

旧町の合併協議の中で、旧本川根町役場を総合支所として位置付け、老朽化した庁舎を地域防災・地域振興の拠点として整備することが決定しました。

◇建設の方針―

総合支所庁舎はマグニチュード８・０を超えると想定される東海地震の発生時、防災拠点として機能することが求められていました。また役場総合支所として住民サービスを提供する場、北部地域のまちづくりの拠点としての機能も必要とされていました。

これらの目的を基本として次の通り、建設の方針が形づくられました。

1 防災対策上の拠点機能

震災時、防災拠点機能を保持するため免震構造を導入

2 住民サービスを提供する機能

現在のサービスメニューの維持と向上

3 来庁者にやさしい庁舎

ユニバーサルデザインへの配慮、町民開放施設（ギャラリー）、木材の利活用

4 環境に配慮した庁舎

太陽光システム、深夜電力などを利用した設備の導入

◇建物の特長―

地域振興センターの建物構造は、鉄骨造り２階建て。地域の皆さんが集い憩う場所です。地元の木材をふんだんに使用した温もりがあふれる館内となっています。また本施設の特長として、通路へのひさし設置や、段差のない床、多目的トイレの導入など、来庁者の皆さんが使いやすい施設となっています。

（1階）

総合支所に入ると、まず最初に目に飛び込んでくるのが木目もきれいなカウンター。窓口担当職員が皆さんを迎えます。

この総合支所は、１課４室、教育委員会、災害対策室で構成されています。窓口業務、福祉、教育、建設、観光など、さまざまな住民サービスに対応します。

（2階）

２階は主にコミュニティスペース。会議室や文化財収納室など、多目的な用途に使用できます。

真新しいセンターの外観　気軽にお越しください

施設概要

◇川根本町北部地域振興センター

住所▶川根本町千頭1183-1

事業年度▶平成20年度

総事業費▶３億4,710万円

建設工事費▶２億6,800万円

設計監理業務委託費▶1,960万円

仮庁舎解体および外構工事費▶5,950万円

構造▶鉄骨造２階建て

建築面積▶494.0㎡

延べ床面積▶947.0㎡

概要▶１階は、役場総合支所。１課４室および教育委員会など。ほかに災害対策室や相談室。２階は会議室や相談室、文化財収納室など。主にコミュニティスペースとして機能。

【問】総合支所　代表☎（59）3111

総合支所業務を開始　４月１日

地域住民の期待

川根本町議会
森照信（てるのぶ）議長

地域のシンボル的な施設

長い間、地域の皆さんが待ち望んでいた北部地域振興センターが、いよいよ完成となりました。

本年度から、役場は機構改革により課の編成が大きく変わり、新たに室が設けられました。しかし課の名称が変わったとしても、提供される住民サービスについては、これまでと何ら変わることはないと思います。これからも、地域住民に安心を提供する総合支所であってほしいと思います。当センターは、会議室や、文化財貯蔵室、相談室などが備わっています。また、ユニバーサルデザインの導入で、住民に優しい構造をしています。整った設備、充実の施設。今後は地域住民の憩いの場、コミュニティの空間となっていきます。北部地域を代表するシンボル的な存在として、防災の拠点、または地域づくりの拠点として、有意義に活用されていくことを期待しています。

施行主体の意識

センター入口のプレートを除幕　４月１日

皆さんの良き相談相手に

杉山嘉英町長

旧町の合併以来、北部地域の皆さんに待ち望まれていた地域振興センター。無事、開所を迎えることができました。

この地域の安心・安全を守るため、また地域づくりの拠点としても機能するセンターです。同日、町営バス北部路線も運行をスタートしました。まちづくりが着々と形になりつつあります。限られた資源と人材の中で、あらゆるニーズに応えることが求められています。職員一同、地域の皆さんと悩みを共有し、皆さんのよき相談相手となれるよう努力していきます。この施設が、皆さんのご理解とご協力によって竣工できたことに感謝し、業務を進めていきます。